



道内中小企業による普及・実証事業とSDGsとの関連性

採択年度	対象国	提案企業名 (本社所在地)	事業の見込まれる成果	事業と関連する主なSDGs目標とターゲット	
事業名 / 概要					
2015年度	ボリビア	(株) レアックス (札幌市)	<p>・井戸の機能診断に基づく適切な改修が可能となり、既存井戸が長寿命化。・維持管理能力の向上により、わが国の協力による井戸の開発効果が持続、など。</p>		<p>6.1 2030年までに、すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する。</p>
<p><b>効果的な診断・改修による井戸の長寿命化普及・実証事業</b></p> <p>提案製品である井戸カメラを用いた井戸診断および診断に基づく井戸改修方法の選定・改修の有効性を実証する。ボリビアの井戸管理関係者への技術移転を通じた普及方法を検討する、など。</p>					
2014年度	ベトナム	正和電工 (株) (旭川市)	<p>・対象地域の公共用水域に流入する生活排水の汚濁負荷が50%以上削減できる。・クアンニン省による分散型排水処理システムの持続的な利活用に向けた体制が整備され、普及活動計画案が策定される。</p>		<p>6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。</p>
<p><b>バイオトイレと新浄化装置を活用した環境改善技術の普及・実証事業</b></p> <p>バイオトイレと新浄化装置を観光船・公共施設・一般家庭を含むコミュニティに導入し、その有効性を実証する。バイオトイレから発生する残渣を有機堆肥として活用することで、環境に配慮した生活を実現する、など。</p>					
2014年度	インド	東洋農機 (株) (帯広市)	<p>・インドの市場ニーズに適合したインド仕様のジャガイモ収穫機が検証される。・機械化に適した栽培体系、収穫体系が提案される。・C/P および農家に収穫にかかる技術が移転される、など。</p>		<p>2.4 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する。</p>
<p><b>ジャガイモ収穫機普及・実証事業</b></p> <p>インド仕様のジャガイモ収穫機の導入を検証する (モデルファームでの試用・調整、収穫効率等の評価等)。パンジャブ州園芸局普及員および周辺農家を対象とした収穫機の使用および機械化に適した収穫体系確立に向けた指導を行うなど。</p>					
2014年度	スリランカ	(株) ヒューエンス (帯広市)	<p>・既存汚水処理場の廃水が法定基準以下に改善される。・環境保全に資するローカル人材が育成される。・食品工場をはじめ、都市部・農村部を含めた環境改善の仕組みが構築される。</p>		<p>6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。</p>
<p><b>旋回噴流式オゾン酸化法による汚水処理技術の普及・実証事業</b></p> <p>食品加工場の既存汚水処理場に旋回噴流式オゾン酸化法を用いた汚水処理システムを追加導入し、廃水が法定基準以下に改善されることを実証する。導入した工場における同システムの維持管理体制を構築する、など。</p>					

採択年度	対象国	提案企業名 (本社所在地)	事業の見込まれる成果	事業と関連する主な SDGs 目標とターゲット	
事業名 / 概要					
2014 年度	インドネシア	(株) みどり工学研究所 (札幌市)	<p>・水利データが高い頻度で収集され、効率的な多目的ダム管理に役立てられる。</p> <p>・適用性を実証する各機関において、SESAME システムの維持管理能力が向上する、など。</p>	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>6.4 2030年までに、全セクターにおいて水利利用の効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。</p>
<p>多目的ダム管理の効率化等にむけたリアルタイム監視システム (SESAME) 普及・実証事業</p> <p>多目的ダム管理の効率化および効果的な災害対策の支援を長期的な目標として SESAME システムを導入し、チタムル川流域におけるフィールドデータをリアルタイムで自動計測することで、データ収集の効率化を実証する、など。</p>					
2014 年度	ナイジェリア	日東建設 (株) (雄武町)	<p>・公共事業省のエンジニアが現地で取得したデータをもとに橋梁の維持修繕計画が立案される、など。</p>	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>9.a アフリカ諸国、後発開発途上国、内陸開発途上国及び小島嶼開発途上国への金融・テクノロジー・技術の支援強化を通じて、開発途上国における持続可能かつ強靱なインフラ開発を促進する。</p>
<p>コンクリートテスター (CTS) を用いた土木構造物の点検技術の普及・実証事業</p> <p>公共事業省のエンジニアに対して CTS を使用した点検実務実習 (現地の橋梁を対象) を実施する。橋梁の維持修繕計画立案に関する研修を行う、など。</p>					